

(社)甲府青年会議所2021年度

年間事業計画書(案)

出向・渉外特別委員会	特別委員長 秋山 卓朗
------------	-------------

1. 基本理念

出向者の活動を支援し、渉外事業を通して会員のさらなる成長を促すことで組織の発展につなげる。

2. 事業名・事業目的/内容・予算・開催月

事業名	事業目的 / 内容	予算	開催月
1. 出向者への支援及び 渉外事業への参加・対応	出向者の活動を会員へ共有し支援するとともに、JCI、公益社団法人日本青年会議所、関東地区協議会、山梨ブロック協議会が開催する会議・大会・事業へ参加し、青年会議所運動への見識を深め、自己成長につなげる。 ・京都会議(京都)(1月) ・山梨ブロック協議会賀詞交歓会(1月) ・ASPAC(台中)(6月) ・関東地区大会(水戸)(7月) ・サマーコンファレンス(横浜)(7月) ・山梨ブロック大会(大月)(9月) ・全国大会(宇都宮)(10月) ・世界会議(ヨハネスブルグ)(11月) ・ありがとう関東地区(11月) ・ありがとうブロック(11月) ・その他の渉外事業(随時)	0	通年
2. 2月例会 (出向・渉外Start Up)	出向や渉外事業の魅力を発信することで、出向者支援の気運及び渉外事業への参加意欲の向上を図る例会を開催する。	100,000	2月
3. 7月例会 (第69回関東地区大会)	新たな学びを得るとともに、青年会議所運動の魅力を体感することで、(社)甲府青年会議所の一員であることに誇りを持ち、高い志を持って活動するきっかけとなる例会を開催する。	0	7月
予算合計		¥100,000	

年間事業計画書(案) 指摘・質問事項

	出向・渉外特別委員会	特別委員長 秋山 卓朗
--	------------	-------------

指摘・質問事項及び対応

[審査]第01回室長予定者会議

09月30日(水)

指摘・質問事項	対応
各事業においても特別委員長の出向・渉外事業における経験を伝えてください。	私が今まで経験したことを、伝えていきたいと思います。
コロナ禍において、渉外事業をどのように考えていますか。	(公社)日本青年会議所本会の情報を早急に把握するようにし、事業の開催が決まり次第、対応して参ります。
渉外事業に参加できない会員にはどのようにフォローアップをしますか。	現地に行けない会員については、さまざまなメディアを通じて伝えたいと考えております。そのうえで、当特別委員会の責任において参加できない会員にも事業の内容を伝えていきたいと考えております。
会員への周知はどのように考えていますか。	各種事業修了後、PRをさせていただきたいと考えております。また、当特別委員会メンバーから、会員に取りまとめの連絡及び事業内容等の案内を伝えていきたいと考えております。
現在、アカデミー会員の出向率を教えてください。	直近3年間は、新入会員が入会した次の年度で山梨ブロック協議会の委員会メンバーとして原則100%出向しています。もっとも、実際に出向先での活動をしている会員はわずかと思われます。
理事長所信にもあるように、「みんなでやる、みんなで行く」という想いを伝えてください。	2021年度は、関東地区協議会会長を輩出する(社)甲府青年会議所の責任もごさいます。多くの会員が諸大会・諸事業に参加できるよう想いを伝えて参ります。

[協議]第01回三役予定者会議

10月02日(金)

指摘・質問事項	対応
基本理念の「出向や渉外事業を通じ、自己研鑽の機会を体感することにより組織の活性化を図る」と記載がありますが、「機会を体感する」という用法は日本語として正しいでしょうか。確認して必要があれば修正ください。	該当部分につき、「自己研鑽の機会を活用」と変更し、「出向や渉外事業を通じ、自己研鑽の機会を活用することにより組織の活性化を図る。」と修正いたしました。
2月例会の事業目的に「意識の向上」とありますが、どのような意識を向上させるのでしょうか。	(社)甲府青年会議所のメンバーがJCI、日本JC、関東地区、山梨ブロック協議会が開催する各事業に積極的に参加するように、出向・渉外事業の魅力を伝える例会にしたいと考えております。
2月例会の例会名が「渉外魅力浸透」と記載されておりますが、会員の意識を向上させる内容がイメージできるような文言に修正してください。また、事業目的との整合	2月例会の例会名を「出向渉外魅力発信」とし、事業目的／内容の該当部分につき「渉外事業に対し意識向上を図る例会」から「青年会議所運動に対する意識の向上を図る例会」と変更し、事業目的を「出向や渉外事業を通じ、自己研鑽の機会を活用することにより組織の活性化を図る。」と修正いたしました。

もとれていないので再考ください。	る例会」と記載を修正いたしました。
基本理念の内容が、出向者や渉外事業への参加者の理念となっていて、出向・渉外特別委員長の基本理念となっていないのではないかと思いますので、過去の計画書を参照して検討ください。	基本理念を、「出向・渉外事業を通じ、自己研鑽の機会を活用することにより組織の活性化を図る」と修正いたしました。

[協議]第02回理事予定者会議

10月07日(水)

指摘・質問事項	対応
基本理念が出向・渉外に行った人の体感する内容になっていて、この委員会でやることではないので再考してください。「出向や渉外事業を通じ」で簡単にまとめられていますが、この委員会でやることを再考してください。	出向者の支援事業と渉外への参加・対応事業の二本の柱で活動して参りますので、「出向や渉外事業を通じ、自己研鑽の機会を活用することにより組織の活性化を図る。」から、「出向者の活動を共有するとともに、渉外事業を通して会員に自己研鑽の場を提供することで、組織の活性化につなげる。」と修正いたしました。
出向・渉外に参加しない人に対して、どのように参加を働きかける予定ですか。	まずは、会員全ての方々に当委員会で電話でお声がけをさせていただきます。なぜ、電話をする必要なのかと言いますと、やはり会員の皆様は出向や渉外事業を知らないことで行きづらい環境もあると思います。電話で話すことにより、単なる出欠の確認だけではなく、魅力を伝えるきっかけになると考えているからです。
出向者の支援としてのどのようなことをするつもりですか。	出向者の支援は、まずは開催をされる事業に多くの参加者の出席を促すことが一番になると思います。また、出向先のメンバーをよりサポートするために、情報を密に取って行きたいと考えております。
特別委員長が考える出向・渉外事業の魅力とは何ですか。	渉外の魅力は、(社)甲府青年会議所だけでは体感のできない予算規模の事業への参加またスケールメリットを体感することができます。出向に関しては、各地の青年会議所から出向している各地地域の課題を真摯に向き合っているメンバーとともに活動することで、切磋琢磨することによって本当の三信条を体感することができる大きな魅力だと考えます。
関東地区会長を輩出するため関東地区への支援を考えることはたしかに重要ですが、日本JCや山梨ブロックへの支援などその他にすべきこともあるので考えてください。	関東地区会長を輩出することは、関東地区協議会とともに日本青年会議所本会の役員をこの(社)甲府青年会議所から輩出することに繋がります。2021年度は日本青年会議所本会、関東地区協議会、山梨ブロック協議会ともに全面的に協力する必要があると考えます。その責任をこの(社)甲府青年会議所メンバーに伝え、各出向先を支援することが必要だと考えます。

[審査]第02回室長予定者会議

10月12日(月)

指摘・質問事項	対応
「共有」とありますが、出向者の活動や渉外事業の内容をどのように共有しないし紹介する予定ですか。皆が忙しい中でどのようにして共有するのかを考えないと難しいのではないかと考えています。	日本青年会議所については私が専務グループへ出向するため、そちらから得た情報をLOMへお伝えしたいと思えます。関東地区協議会については会議にオブザーバーとして参加し、そこで見聞きした情報をお伝えする予定です。山梨ブロック協議会については多数の事業がございますが、可能な限りお許しをいただいて委員会などに参加したり、LOMからの出向者や旧知の会員会議所役員と連携したりしながら参加の呼びかけを図っていきたく思います。大きな渉外事業については委員会で現地調査をして紹介ムービーを作って紹介することを考えています。具体的な手法については、本日のご意見を委員会へ

	持ち帰り、個別計画書の協議の際にお諮りしたいと思います。
2月例会の例会名が前回室長会議から変更になっていますが、どのような例会にする予定ですか。	2月例会の前に京都會議があるので例会名を変更しました。例会は、2部構成を考えています。第一部は、全国會議が開催される栃木ブロックの会長をお呼びして対談等を行うことを検討しています。第二部では、具体的な講師は検討中ですが、出向・渉外の魅力を伝える内容を考えています。
講師費用と7月例会のバス代について内容を教えてください。	現役の他LOMの会員を呼ぶ時は、一般に交通費等の実費のみのお支払いとなりますので2名分の費用を計上しています。バス代は、日下部観光バスから見積りをいただいた金額をもとに計上しています。
関東地区大会の日程はもう決まっていますか。	関東地区協議会での審議可決前の段階ですが、7月4日にアダストリア水戸アリーナで開催予定と聞いております。
7月例会の事業目的/内容の「スケールメリット」とは何ですか。	約8000名のメンバーが集まり、予算規模の大きな事業、LOM単独ではできないような事業や影響力・発信力の大きな事業などが開催されます。それを実際に体感していただき、LOMの活動に生かしていただきたいと思います。
7月例会の目的に「意識を高める」とありますが、どのような意識を高める例会にするのですか。	「山の都」以外の地域のことを知ったり、他地域の青年會議所活動のことを知ることで、あらためて地域へ貢献する意識を持ってもらいたいと思います。

[協議] 第02回三役予定者会議

10月16日(金)

指摘・質問事項	対応
「図る」は漢字で「更なる」はひらがなで記載をしてください。	該当部分を修正いたしました。
関東地区大会を7月例会にした意味を教えてください。	公益社団法人日本青年會議所の礎である関東地区協議会の会長を輩出する会員會議所としての責任や誇りを実感する貴重な機会と考えるからです。
会員として、出向や渉外事業を通じ、どのような体感をしていただきたいと思いますか。	出向や渉外事業を通じ、(社)甲府青年會議所だけではなく、予算規模やターゲット等の面から(社)甲府青年會議所単体での実施が難しい事業等に参加していただくことで、新たな視野を持って見識を広げていただきたいと思います。
基本理念に「自己研鑽の場を提供し」とありますが、場を提供するのは主催の協議会等となりますので、出向・渉外特別委員会の基本理念となるよう修正をしてください。	会員の皆様には、出向・渉外事業を通じてさまざまな機会を掴み取っていただきたいという趣旨も踏まえ、「自己研鑽の場の提供」から「自己研鑽の場を活用することで」と変更をさせていただきました。
基本理念に「組織の活性化につなげる」とありますが、具体的な内容が分からないので再考をお願いいたします。	出向・渉外事業を通じて、参加をしていただくことで、機会を体感していただきたいと思います。考え、「組織のさらなる発展」と変更をさせていただきました。

[協議] 第03回理事予定者会議

10月23日(金)

指摘・質問事項	対応
出向者の活動の支援について出向者を具体的にどう支援していこうと考えているのか教えてください。	出向者の活動をまず会員に知って頂きたいと思います。また、活動を逐一周知していきたいと考えます。また、最大の支援は出向者の事業に参加することだと思います。

	るので、会員に周知し参加を促して行きたいと考えます。
渉外事業の参加者の視点しか事業目的に入っていないので出向者の支援についての視点を上手く入れてください。	出向者の支援の視点を考え、「出向者の活動を会員へ共有し支援するとともに、JCI、公益社団法人日本青年会議所、関東地区協議会、山梨ブロック協議会が開催する会議・大会・事業へ参加し、青年会議所運動への見識を深め、自己成長につなげる。」と変更させて頂きました。

[協議] 第04回合同三役会議

10月27日(火)

指摘・質問事項	対応
70周年に向けてどのように気運を高めていくのですか。またどのように取り組んでいくのか年間事業計画書に反映してください。	全体事業として、70周年記念事業への参画と記載させていただきました。
2月例会は何を行うのか教えてください。	2021年度の出向者から出向先でどのような活動するのかを発表し会員に共有するとともに、会員に対し各渉外事業が開催される意図を伝え、出向や渉外事業に対する理解を深めることができる内容を考えています。
出向の必要性をどのように考えているのか教えてください。	各出向先に参加することでスケールメリットを得てLOMに還元し、組織の活性化と個人の成長につながるのが必要だと考えています。
出向者の支援が活動を伝えるだけでは例年通りなので、何か工夫をしてください。	出向・渉外特別委員会のメンバーが出向先の会議や委員会などに出向き、その活動を写真などを交えてメールマガジンや会員ページで共有し伝えたいと思います。また、出向者の中で中々出向先で活動ができない会員に対してヒアリングを行い、出向先でも活動しやすい環境づくりをしたいと考えています。
出向に対して消極的な会員に対してはどのように考えているのか教えてください。	2月例会で会員に向けて出向の魅力を伝えたいと考えています。
例会で出向の魅力を伝える必要がないと思いますので、再考してください。	例会では出向の魅力だけではなく、渉外事業への理解も深めたいと考えています。また、次年度は関東地区の地区会長を輩出するLOMとして全会員が一体感を持って支援する上で会員の出席義務のある例会で出向の魅力を伝えることが必要だと考えています。

[協議] 2020年度第13回理事会

11月02日(月)

指摘・質問事項	対応
2月例会の予算が¥100,000となっておりますが、何に使う考えていますか。	会員に対して来て頂いて出向の魅力伝えていきたいと考えております。例会の開催が2月で、コロナの収束が見えていない状況だと思っておりますので、ソーシャルディスタンスを考え大きな会場を使用したいと考えております。また、県外からも講師を招く事を考えておりますので、計上しております。
基本理念で「渉外事業を通して、会員の更なる成長を促す」とありますが、渉外事業だけで、活動支援をすることで会員の更なる成長を促すことができるのでしょうか。	出向者の活動の支援をするというなかには、出向者がどのような活動をしているのかを、出向をしていない会員に共有をすることにより、出向者の活動を知っていただくことが一つの学びになると考えます。また、渉外事業を通してというのは参加をしなければ、なかなか得ることが出来ない経験があると思います。出向渉外特別委員会としての役割は、渉外事業に会員を連れていく、そのためには、事前に渉外事業の価値を会員に伝え事業に参

	加をしていただきたいと思います。
2月例会(出向のススメ)というタイトルを再考してください。	2月例会の題名を(出向渉外魅力発信)とさせていただきます。

[審査]第03回室長予定者会議

11月05日(木)

指摘・質問事項	対応
7月例会の目的で「誇りを持ち」とは、参加すると誇りを持てるのでしょうか。	(公)日本青年会議所本会地区担当常任理事また主催をする関東地区協議会会長を輩出するLOMとして、責任が重要だと考えます。また、大会に参加し他会員会議所会員と交流することにより、私達(社)甲府青年会議所から会長を輩出する誇りを得られると考えております。

[審議]第03回三役予定者会議

11月09日(月)

指摘・質問事項	対応
2月例会の題名が事業目的とリンクしないので、変更をしてください。	Start Upは、1月の京都会議から渉外はスタートしますが、2月例会を経て更なる気持ちのギアを一段階上げて活動して頂きたいと考えて「出向・渉外Start Up」とさせて頂きました。

[協議]11月例会(事業案協議)

11月12日(木)

指摘・質問事項	対応

[審議]第04回理事予定者会議

yy月dd日(ddd)

指摘・質問事項	対応

[審議]第XX回合同三役会議

yy月dd日(ddd)

指摘・質問事項	対応
---------	----

[審議]2020年度第XX回理事会

yy月dd日(ddd)

指摘・質問事項	対応